

# 施策分析シート

No1

<b>施策名</b>	新産業の創出支援	<b>施策No</b>	01-03	<b>部課名</b>	産業経済部経営支援課		
				<b>課長名</b>	石原久	<b>内線</b> 455	
<b>関連部課名</b>							
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	産業・教育・文化					
	<b>政策</b>	活力ある地域産業づくり					
<b>目的</b>	<p>区が主体的役割を果たすことで構築する「産学官の顔の見えるネットワーク」を軸とした荒川版クラスター形成により「新事業の創出」、「既存企業の第二創業や経営革新」、「ベンチャーの創出」を促進し、地域産業の活性化を図る。</p>						
<b>指標</b>	<b>施策の成果とする指標名</b>	<b>指標の推移</b>				<b>指標に関する説明</b>	
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値 (28年度)		
	①	MACCプロジェクト参加企業数	-	-	60	200	
	②	産学連携研究開発助成件数	-	-	3	10	
	③						
	④						
⑤							
<b>現状と課題</b>	<p>産業振興懇談会での検討結果を踏まえ、18年度は「荒川区モノづくりクラスター（MACC：マック）プロジェクト」を立ち上げ、荒川版クラスター形成に向け「産学官の顔の見えるネットワーク」の構築を目指す。そのための先導的プロジェクトとして、社会的ニーズがあり、現段階で最も実現可能性が高い、産学共同による福祉・介護系新製品開発を目指す「福祉・介護系新製品開発プロジェクト」に取り組んでいく。</p> <p>今後は荒川版クラスター形成に向けた課題を整理し、必要な支援策を含めたロードマップにより、計画的な施策推進が必要である。</p>						
<b>今後の方向性</b>	<p>18年度に調査検討する「荒川版クラスター形成のためのロードマップ」に基づいて、荒川版クラスター形成のためのMACCプロジェクト推進に必要な以下の支援策を実施していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中核的支援組織・機関の設立</li> <li>・ネットワーク形成のためのコーディネーターの確保</li> <li>・販路開拓に係る支援</li> <li>・産業振興施設の整備、運営</li> <li>・モノづくり産業を支える後継者・人材の育成</li> </ul>						

<b>施策の優先度</b>	<b>優先度についての説明・意見等</b>
A	<p>産業振興懇談会での検討結果を踏まえて取り組む、荒川版クラスター形成に向けたMACCプロジェクトの推進は、区内産業の活性化のためには極めて重要であり、当該施策の優先度は極めて高いと考える。</p>

# 施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
産学官連携研究開発事業	04-02-23	-	-	A	MACCプロジェクトを推進し「産学官の顔の見えるネットワーク」を構築するとともに、大学等が有する専門知識を活用した産学共同による新製品・新技術開発を支援することは、区内産業の活性化のために極めて重要。
合 計		0	0		